

# 館林版「ROCKET」事業

## ～個性は可能性～

○本事業は、館林市と東京大学先端科学技術研究センターとの共同で実施する事業です。

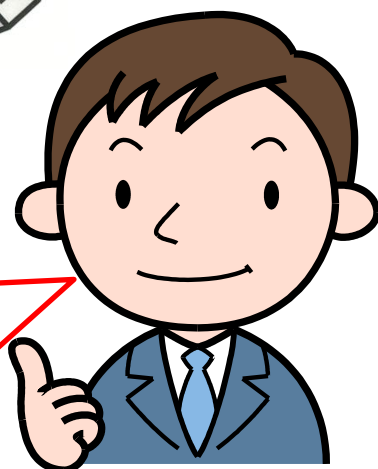


「ROCKET」ってどんな意味なの？



「ROCKET」とは、「Room Of Children with Kokorozashi and Extra-ordinary Italents」の頭文字をとったもので、「志と個性をもった子どもたちの集まる場所」という意味があります。

「個性は可能性」という考えのもと、自分の可能性を見つけたい！もっと伸ばしたい！という思いをもつ子どもたちが集まる新しい学びの場です。



館林版「ROCKET」  
事業って？

学校生活に馴染めずに、学校を休みがちになったり、友達とうまく関われなかったりしている子どもたちに向けたプロジェクトです。

できることがあまりなくて、自分に自信がないな…

学校は休みがちだけど、コンピュータ(など)のことならまかせといて！

もっとみんなと話したいのにうまく話ができないな…。

「ROCKET」事業では、みんなのすてきな可能性を見つけたり、それを伸ばしたりできるように応援します！



「ROCKET」事業ってどんな活動があるの？

主に、「ABL (Activity Based Learning)」「トップランナートーク」などの活動があります。



「ABL(アクティビティー ベースドラーニング)」って?

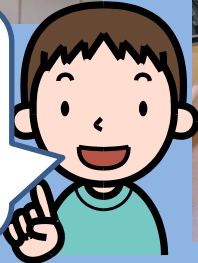
料理や工作などの活動を通して知識や技を学びます。いろいろな活動を通して、学ぶ楽しさも実感できるようなプログラムです。



7月31日に第1回目が行われました。今回の内容は、「真っ白な小麦粉を100gつくろう!」でした。小麦の穂から小麦粉をどうやって取り出すのか。参加者は、一生懸命に考えながら、いろいろな道具をつかって活動に取り組んでいました。また、小麦の歴史や道具のしくみなどについても学習しました。

楽しかった。粉づくりをずっとやっていて、細かくするのに夢中になって時間を忘れてしまった。

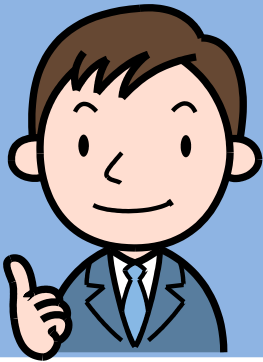
【参加者の感想】



「ABL」は、年4回の活動を予定しています。

- |     |       |                 |
|-----|-------|-----------------|
| 第2回 | 10月下旬 | テーマ「幻の小麦を探せ」    |
| 第3回 | 12月中旬 | テーマ「思い出の味を再現せよ」 |
| 第4回 | 2月下旬  | テーマ「未来のお菓子とは?」  |

※詳細は、実施日の1ヶ月前にお知らせします。



「トップランナー トーク」って?

世界で活躍する著名人による講演会です。トップランナーの方のいろいろな話は、子どもたちに夢や希望を与えてくれるでしょう。

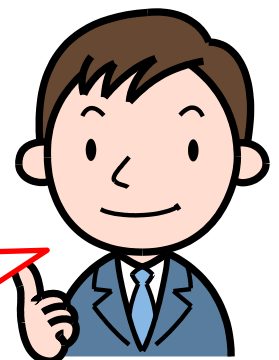


8月1日に向井千秋記念子ども科学館プラネタリウムで、ロボットクリエイターの高橋智隆先生をお招きし、トップランナートークを行いました。先生がつくったロボットが登場すると、とても真剣にそれらの様子を眺める子どもたちの姿が多く見られました。最後には、たくさんの質問が飛び交いました。

※今年度の2回目の実施は検討中です。

「ROCKET」事業に参加するには、どうすればいいの?

この「ROCKET」事業は、自分の可能性を見つけたい! 伸ばしたい! と思っている子どもたちに向けたプロジェクトです。参加については、学校の先生に相談してください。



【お問い合わせ】 向井千秋記念子ども科学館 (担当:中村) 75 - 1515